



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **02096449 A**(43) Date of publication of application: **09 . 04 . 90**

(51) Int. Cl

H04M 1/57(21) Application number: **63248315**(71) Applicant: **FUJITSU LTD**(22) Date of filing: **30 . 09 . 88**(72) Inventor: **MOROSAWA KENJI****(54) ORIGINATING PARTY NAME AUTOMATIC DISPLAYING SYSTEM FOR TELEPHONE TERMINAL**

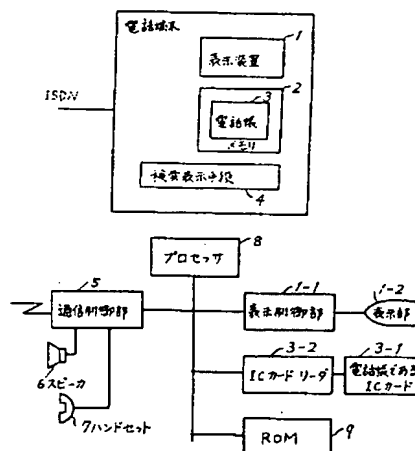
(57) Abstract:

PURPOSE: To show an originating party name by storing a telephone directory into the memory of a telephone terminal connected to an integrated service digital network (ISDN) to send a message including an originating party telephone number, extracting an originating party number from an incoming call message and comparing with the memory.

CONSTITUTION: A communication control part 5 receives and calls out with a speaker 6. In a message, the presence and absence of a originating party telephone number are retrieved. A card reader 3-2 reads successively an IC card 3-1 which is a telephone directory. When both are coincident, the name corresponding to the card 3-1 is read, outputted to a displaying control part 1-1 and shown in a displaying part 1-2. When the card 3-1 is not mounted, the originating party telephone number is shown through a displaying control part 1-1 at the displaying part 1-2. Even when all telephone numbers of an IC card 3-1 are read and the number coincident with the retrieved originating party telephone number does not exist, the originating party telephone number is shown in the

displaying part 1-2. By the constitution, when the message including the telephone number is received, a receiving person immediately finds the name of the originating party.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio



⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平2-96449

⑬ Int.Cl.⁵

H 04 M 1/57

識別記号

庁内整理番号

7117-5K

⑭ 公開 平成2年(1990)4月9日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 電話端末の発信者名自動表示方式

⑯ 特 願 昭63-248315

⑰ 出 願 昭63(1988)9月30日

⑱ 発 明 者 諸 澤 健 司 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社
内

⑲ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑳ 代 理 人 弁理士 井 桁 貞一

明 細 書

1 発明の名称

電話端末の発信者名自動表示方式

2 特許請求の範囲

発信者電話番号を含むメッセージを送信する、サービス総合デジタル通信網に接続された、表示装置(1)を有する電話端末の、メモリ(2)に電話番号と氏名を示す電話帳(3)を格納し、又或者メッセージの中から発信者電話番号を抽出し、該電話帳(3)の電話番号と比較し、一致すれば氏名を抽出し、該表示装置(1)に表示する検索表示手段(4)を設けたことを特徴とする電話端末の発信者名自動表示方式。

3 発明の詳細な説明

(概 要)

発信者電話番号を含むメッセージを送信する、サービス総合デジタル通信網(以下ISDNと称す)に接続された、表示装置を有する電話端末

の発信者名自動表示方式に関し、

電話番号を含むメッセージを受信すれば、直ちに受信者が発信者の氏名を知ることの出来る、電話端末の発信者名自動表示方式の提供を目的とし、

表示装置を有する電話端末の、メモリに電話番号と氏名を示す電話帳を格納し、又或者メッセージの中から発信者電話番号を抽出し、該電話帳の電話番号と比較し、一致すれば氏名を抽出し、該表示装置に表示する検索表示手段を設けた構成とする。

(産業上の利用分野)

本発明は、発信者電話番号を含むメッセージを送信する、ISDNに接続された、表示装置を有する電話端末の発信者名自動表示方式に関する。

(従来の技術)

近年ISDNの商用サービスが開始されており、新しいサービスとして電話発信時に発信端末から

の自電話番号を含むメッセージを相手側に送信し、着信側でその発信者の電話番号を表示出来、通信開始以前に相手が誰であるかを確認出来るサービスが用いられている。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、受信者は発信電話番号に対する発信者の氏名を忘れていることが多く、自己の、電話番号対氏名を書いた電話帳を調べねば判らず、発信者の氏名を判別するのに時間がかかる問題点がある。

本発明は、電話番号を含むメッセージを受信すれば、直ちに受信者が発信者の氏名を知ることの出来る、電話端末の発信者名自動表示方式の提供を目的としている。

〔課題を解決するための手段〕

第1図は本発明の原理ブロック図である。

第1図に示す如く、発信者電話番号を含むメッセージを送信する、ISDNに接続された、表示

示プログラムのフローチャートである。

第2図中、1-2は表示部、1-1は表示部1-2の表示を制御する表示制御部、3-1は受信者の、電話番号に対する氏名を書き込んだ電話帳であるICカード、3-2はICカードリーダー、5は、ISDNとのメッセージの送り取りを行う通信制御部、6は呼び出し信号等を出力するスピーカ、7は通話を行うハンドセットで、ROM 9には第3図に示す検索表示プログラムが格納してある。

プロセッサ8はこのプログラムにて発信者の氏名の表示等を行う。

以下第3図のプログラムに従って説明する。

通信制御部5にてメッセージを受信すると、ステップ1にて呼び出し信号をスピーカ6より出力し、ステップ2にて、メッセージ内に発信者電話番号があるかを検索し、有ればステップ3に進み、電話帳であるICカード3-1が実装されていればステップ4に進む。

ステップ4、5、9では、ICカードリーダー

装置1を有する電話端末の、メモリ2に電話番号と氏名を示す電話帳3を格納する。

又着信メッセージの中から発信者電話番号を抽出し、該電話帳3の電話番号と比較し、一致すれば氏名を抽出し、該表示装置1に表示する検索表示手段4を設ける。

〔作 用〕

本発明によれば、発信者電話番号を含むメッセージを受信すると、検索表示手段4にて、発信者電話番号を抽出し、メモリ2に格納されている電話帳3の電話番号と比較し、一致すれば氏名を抽出し、表示装置1に表示するので、メッセージ受信と略同時に発信者の氏名を知ることが出来る。

〔実施例〕

以下本発明の1実施例に付き図に従って説明する。

第2図は本発明の実施例の電話端末の構成を示すブロック図、第3図は本発明の実施例の検索表

3-2にて、電話帳であるICカード3-1を順次読み取り、検索した発信者電話番号と一致すればステップ6に進む。

ステップ6では、電話帳であるICカード3-1の電話番号に対応する氏名を読み取り、ステップ7にて表示制御部5-1に出力して表示部1-2に表示する。

ステップ2にてメッセージ内に発信者電話番号がなければステップ8に進み何も表示しない。

又ステップ3にて電話帳であるICカード3-1が実装されていなければ、ステップ10に進み発信者電話番号を表示制御部1-1を介して表示部1-2に表示する。

ステップ4、5、9にて電話帳であるICカード3-1の電話番号を全部読み取っても検索した発信者電話番号と一致するものがなければ、ステップ10に進み、発信者電話番号を表示制御部1-1を介して表示部1-2に表示する。

即ち、電話番号を含むメッセージを受信すれば、受信者は直ちに発信者の氏名を知ることが出来る。

(発明の効果)

以上詳細に説明せる如く本発明によれば、電話番号を含むメッセージを受信すれば、受信者は直ちに発信者の氏名を知ることが出来る効果がある。

4 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理ブロック図、
第2図は本発明の実施例の電話端末の構成を示すブロック図、
第3図は本発明の実施例の検索表示プログラムのフローチャートである。

図において、

- 1 は表示装置、
- 1-1 は表示制御部、
- 1-2 は表示部、
- 2 はメモリ、
- 3 は電話帳、
- 3-1 は電話帳であるICカード、
- 3-2 はICカードリーダー、

- 4 は検索表示手段、
- 5 は通信制御部、
- 6 はスピーカ、
- 7 はハンドセット、
- 8 はプロセッサ、
- 9 はROMを示す。

代理人 弁理士 井桁 貞一

